

今年度は、敦賀市より 6,000円の助成*が あります！

敦賀市在住の40歳以上の女性には、2年に1度、約6,000円の助成がでるため、自己負担金1,000円で乳がん検診が受けられます。

今年度の受診券一斉送付対象の方

偶数年齢(年度末年齢)の方

※上記以外の方でも、健康推進課への申込で受診券を発行できます。

乳がん検診(マンモグラフィ)は助成がない場合、7千円を超える高価な検査です。

ぜひこの機会に受診しましょう。

検査費用 約7,000円

ー 助成金 約6,000円

自己負担金 1,000円

※現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期限は

令和9年2月27日

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。
お早めにご予約・ご受診ください。

乳がん検診の流れ

Step 1.

☎ 予約する

医療機関で受診▶医療機関に直接予約(一覧参照)

集団検診で受診▶電話 0770-25-5311



▶ネット 敦賀市けんしんで検索
またはQRから予約

Step 2.



受診する 問診/マンモグラフィ

■持ち物

- ・受診券
- ・自己負担金
- ・マイナ保険証または資格確認書(医療機関の場合)

Step 3.



結果を確認する*

約4~5週間後に結果が郵送されます。

結果が「要精密検査」の場合は、
必ず医療機関で精密検査を受けてください。

実施医療機関一覧

医療機関名	所在地	電話番号	検診実施曜日
国立病院機構 敦賀医療センター	桜が丘	25-1600	水曜日、木曜日、 第2土曜日 (祝日は除く)
市立敦賀病院	三島町1丁目	22-3611	平日、第3土曜日 (祝日は除く)

※検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

40歳を過ぎたら 乳がん検診

マンモグラフィなら自己触診では
みつからないがんも見つかる



敦賀市 福祉保健部 健康推進課

〒914-0811 敦賀市中央町2丁目16番52号

電話 | 0770-25-5311 FAX | 0770-25-5398

近年、日本人女性の 9人に1人が乳がんにかかると言われています。^{※1}

もう他人事とは思えない! 乳がんは女性が一生のうちで1番かかりやすいがんです。

乳がんは40~60代女性の がん死亡原因ナンバーワン^{※2}

日本では、年間1万4千人以上の女性が乳がんで亡くなっています。40~60代はとくに乳がんにかかりやすい年齢です。

セルフチェックだと遅いかも...

誰がなってもおかしくないですよ



自己診断では 見つからないケースがたくさんある

乳がんは自己触診だけでは見つけることが難しく、早期発見のためにはマンモグラフィによる検査を定期的に行うことが大切です。

※1 出典:国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」2015年全国推計値

※2 出典:国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」人口動態統計(2018年)

マンモグラフィは こんな検査です。

乳がん検診のマンモグラフィっていったいなにをするのか、不安に思っていないですか。

実際にどんな検査なのかを知っておけば、検診に行く時も安心!

マンモグラフィは、 いわゆるおっぱいの レントゲン

マンモグラフィは乳房X線とも呼ばれる、おっぱいのレントゲンです。プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んで上からレントゲンを撮ります。



5秒くらい、じっとして...撮影終了!

1cm以下のがんも見つけられる 優れた画像検査法

マンモグラフィは、乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査法で、早期の乳がんの検出に有用です。

検診で「異常あり」となった場合は
その後必ず精密検査を受けてください。^{※3}

精密検査はマンモグラフィの追加撮影、超音波検査、細胞診、組織診などで、これらを組み合わせて行います。

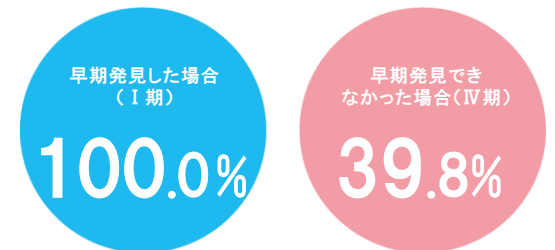
※3 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。

このリーフレットは、がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト> が作成しました。

乳がんは早期発見で 治癒します。^{※4}

乳がんは早期に発見して治療すれば95%以上が治癒します。正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。

5年相対生存率



乳がん検診は2年に1度
必ず受診してください

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液がでる、乳頭の湿疹やただれなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに病院へ行きましょう。



※4 ここでいう「治癒(=治療)」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。出典:全がん協加盟施設における5年生存率(2010~2012年診断例)